

高石商工会議所景気観測調査 2022年6月調査

(調査概要)

○調査対象:高石市内 66 社(業種内訳 製造業11社、建設業14社、小売業・卸売業12社、飲食業15社、サービス業14社)

○調査時期:2022年6月

○調査項目:売上高、採算、従業員(人手)状況、業況、資金繰り、新型コロナウイルスの影響

○調査方法:「FAX、インターネットによる回答」・「職員による調査票に基づくヒアリング」

(全体)



売上高		業況		資金繰り	
増加	19	好転	7	好転	4
不変	20	不変	33	不変	46
減少	27	悪化	26	悪化	16

引き続き新型コロナウイルスの影響が大きいですが、前回に引き続き**売上高が減少した事業所が減り、増加した事業者が増えるなど改善の動き**が見られる。しかし、**資金繰りや先行きの業況感については厳しい状況**が以前続いている。資金繰り表によるキャッシュフローの確認するほか、状況に応じて**経営相談を活用**していきたい。

(製造業)



売上高		採算		業況	
増加	2	好転	1	好転	1
不変	3	不変	6	不変	6
減少	6	悪化	4	悪化	4

新型コロナウイルスの影響だけでなく、**資材、原料、燃料の高騰により引き続き厳しい状況は続いており、先行きもこの状況が続くと予測**されている。コロナ禍の厳しい状況の中で**設備投資や新たな取り組みが滞っており、ものづくり補助金や事業再構築補助金などの施策を活用して前向きな投資を進めたい。**

(建設業)



売上高		採算		業況	
増加	4	好転	2	不足	1
不変	4	不変	5	不変	8
減少	6	悪化	7	悪化	5

他業種に比べて景況感が落ち着きつつあるのは前回調査と同様ではあるが、**資材不足や価格高騰の影響を大きく受け採算が悪化**している。新型コロナウイルス特別貸付の償還や資材の高騰による利益率の悪化などにより、**今後資金繰りが悪化することが懸念される。**経営相談を活用し、資金繰り表による**キャッシュフローの管理を強化**することが望まれる。

(小売・卸業)



売上高		採算		業況	
増加	2	好転	2	好転	2
不変	5	不変	7	不変	6
減少	5	悪化	3	悪化	4

前回に比べて景況感が落ち着きつつあるが、このままの状況が続くとの予測であり、**厳しい状況であることには変わりない**。引き続き売上拡大や生産性向上への取り組みが必要であり、経営相談を活用してその計画策定を進め、そのための資金確保として**小規模事業者持続化補助金や事業再構築補助金を活用**したい。

(飲食業)



売上高		採算		資金繰り	
増加	7	好転	1	好転	1
不変	3	不変	7	不変	9
減少	5	悪化	7	悪化	5

売上を回復させている事業所も増加しているが、コロナ関連融資の返済などにより**採算や資金繰りが悪化の傾向**にある。また、新型コロナウイルス感染の動向が不透明なこともあり、**先行きも厳しい状況であると予測**されている。新型コロナウイルス感染拡大が業況に直結する業種であり、**経営相談や小規模事業者持続化補助金を活用**しながら感染再拡大など**有事に備えた事業計画や取り組み**を進めたい。

(サービス業)



売上高		従業員		資金繰り	
増加	4	不足	3	好転	1
不変	5	不変	11	不変	8
減少	5	過剰	0	悪化	5

景況感や先行き予測は他業種に比べて改善傾向にある。しかし、売上拡大に必要な従業員確保が難しく、コロナ関連融資の返済などにより**資金繰りが悪化している事業所もあり**、**先行きも悪化するとの予測**であり楽観できない状況である。売上拡大の取り組み資金を小規模事業者持続化補助金などで確保するとともに、**経営相談を活用して資金繰り表によるキャッシュフローの管理**を進めたい。